

各エリアよりご報告

蛭ヶ岳山荘エリア

- 蛭ヶ岳山荘にに入った情報による今秋より、神奈川県環境保全センターが主脈線の登山道の修理とシカ柵の設置活動、森林設備事業の発注工事が出され、緑区内のサトウ草木と平井工業が工事を落札し、工事に入る。
- 蛭ヶ岳山荘より、北丹沢の山々を絵ハガキにした山岳写真家の、白井源三氏が写真展を行います。第1回目が緑区「シティプラザはしもと」と第2回目がふじの芸術の家にて行います。

神の川ヒュッテエリア

- 今夏は、東日本大震災のため、神の川ヒュッテキャンプ場が低調と思われておりましたが、7月には、相模原市障害者団体のナチュラトリートメントの50名様が、1泊2日でヒュッテの利用を頂きました。8月には、東京のボーイスカウトなど山岳団体が、9月には自習館高等学校の50名の宿泊が予定されています。
- 青根地域の活性化を目指し、10月2日に地域の事業所を含めパネルディスカッションが行われます。神の川ヒュッテからも、加藤博恵さんにパネラーとして出席をお願いしています。ポスター作成に当たって、原孝氏へお願いしています。

和田峠エリア

- 和田峠にも、沢水が引かれハイキングのお客様より好評を得ています。特に、自動車のお客様が予想を超えました。7月～8月は、土日と限定されましたが、9月～12月までが本番となります。
- 和田峠の名物、こんにゃく玉1串200円で販売しています。各商品について検討しています。田村さんをサポートして下さい。
- 和田峠～陣馬山ウォークを10月8日(日)に二胡の遠藤芳晴さんの協力を得て、八王子市観光協会と藤野観光協会の後援を得ています。是非、皆様の協力をお願いします。(司会は、前八王子市議尾崎正道氏)

トレイルエリア

- 上野原トレイルレースの参加者が、計画停電のために第1回に比べ、参加者が減少しています。大会経費の削減に努め、第3回に向けて始動します。今大会より実行委員長網野克明氏などを新任で迎え、神奈川県山岳連盟、国体選手関係、自衛隊太田監督などの協力を得ています。
- 各大会の実行委員長兼コースディレクターの野崎光宏氏が7月4日倒れ、現在回復に向かって闘病中です。
- 名倉トレイルマラソンは、平成24年1月15日を25年に延期させていただきます。皆様方へ、大変ご迷惑をお掛けします。
- 東日本大震災の炊き出しのバスツアーについて、8月19～21日に相模原市との姉妹都市大船渡市へ参ります。義援金も用意します。

平成23年度半期分 調査 蛭ヶ岳山荘委員会 蛭ヶ岳山荘利用調査報告書

<居住地>

横浜市	113名
神奈川県(横浜除く)	211名
小計	324名(34%)
東京都	420名(44%)
千葉県	37名(3.8%)
埼玉県	31名(3.2%)
その他府県	140名(14.7%)
	952名

蛭ヶ岳山荘 754名 77%(東京、神奈川県の利用)

<下山口>

バスの利用が出来ないので、青根方面下山は15%に留まる

東野	95名(12%)
焼山	27名(3%)
西丹沢方面	253名(32.8%)
表丹沢方面	396名(51%)
不明	181名
	952名

<年齢別利用者>

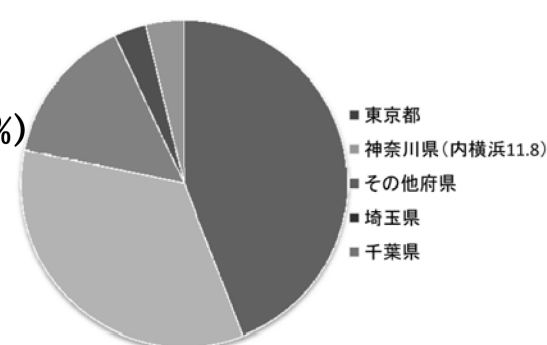
10代	6名(0.8%)	将来性は、統計上有利用者の若返り确实
20代	72名(10%)	
30代	162名(22.3%)	
40代	126名(17.3%)	
50代	102名(14%)	64.4%(10～50代集約)
60代	219名(30.1%)	
70代	39名(5.3%)	
不明	226名 除外	

(半期1,000名の調査) 女性100名 利用推定(10%)

宿泊者 県別利用 平成23年度半期分

利用者の大半は個人登山

東京都	44%
神奈川県	34%(内横浜11.8%)
その他府県	14.7%
埼玉県	3.2%
千葉県	3.8%



下山路方面

外国人の単独登山	0名
山ガール蛭ヶ岳	0名
表丹沢方面	51%
西丹沢方面	32.8%
青根方面	12%
焼山方面	2%

